

NOHMI
ワイヤレス連動型
住宅用火災警報器

まもるくん かんたん登録 設置ガイド

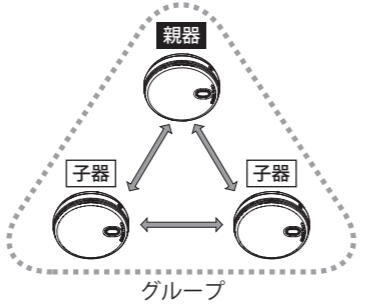
FSKJ226-M 親器(煙式)
FSKJ226-C(-J) 子器(煙式)
FSLJ016-C 子器(熱式)

注意
本書は、警報器のグループ登録および設置についての簡易説明書です。
製品付属の『取扱説明書』の内容を必ずお読みください。

登録しよう！

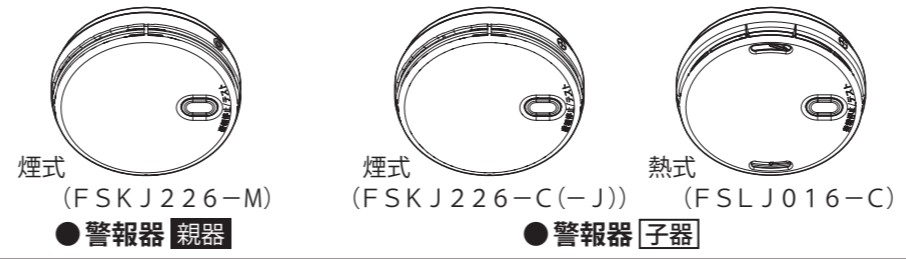
親器に子器を登録します。
登録しないと連動できません。

- 親器に子器を認識させてグループを構成します。



用意するもの

本書は、「煙式」を例に説明しています。「煙式」と「熱式」では、細部が異なります。

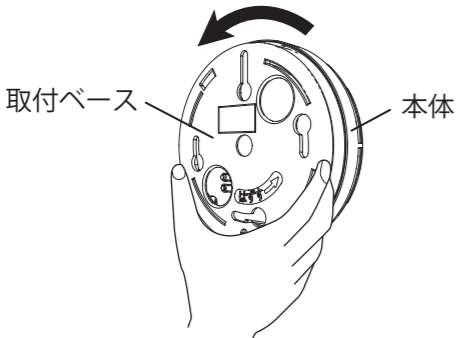


- 専用リチウム電池
- 登録番号表示シール(親器に付属)
- 油性ペン(お客様で準備)

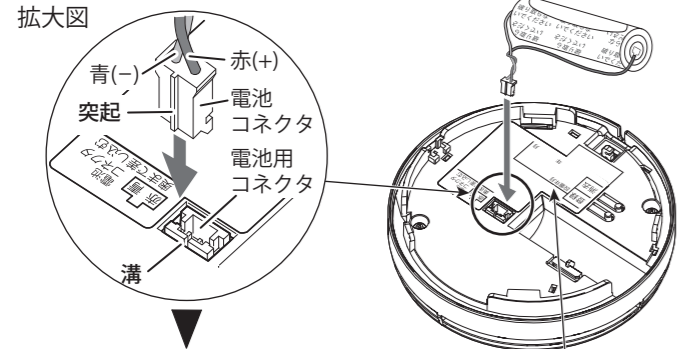
ステップ 1 全ての警報器に電池を取り付ける

取付ベースを
本体からはずします。

取付ベースを
左に 回す



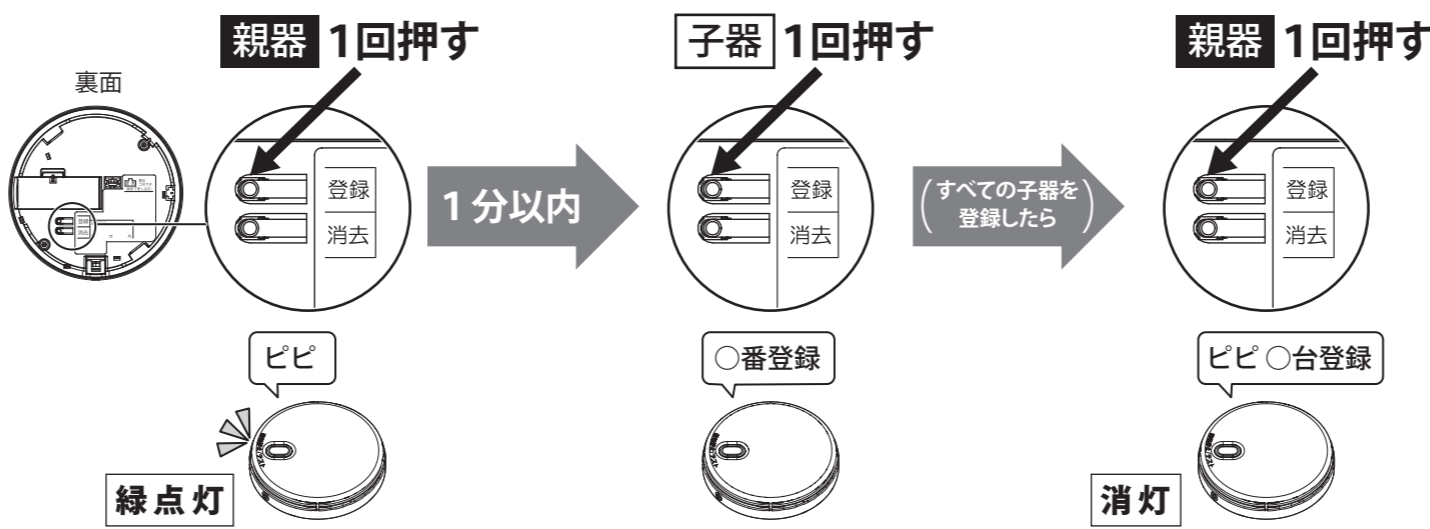
専用リチウム電池を取り付けます。



油性ペンで
設置年月を記入する。
記入例)
設置年月
'19年 4月

- 電池の保護フィルムははがさない。
- 電池を入れる前にコネクタを接続する。
- コネクタの向きを間違えないように注意する。
- コネクタは奥までしっかりと差し込む。

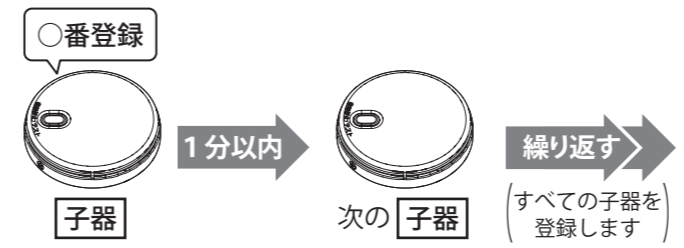
ステップ 2 親器にすべての子器を登録する



- 親器の表示灯が **緑点灯** している間、子器を登録できます。
子器の『登録』ボタンを押さない状態が1分以上続くと、親器から「ビビ○台登録」と鳴り登録モードが終了します。
- 子器は、『登録』ボタンを押してから5～30秒後に、登録確認メッセージ「○番登録」と鳴ります。
- 「○番」は、まだ登録されていない番号の中で、数字が小さい方から順に設定されます。

複数の子器を登録する場合は？

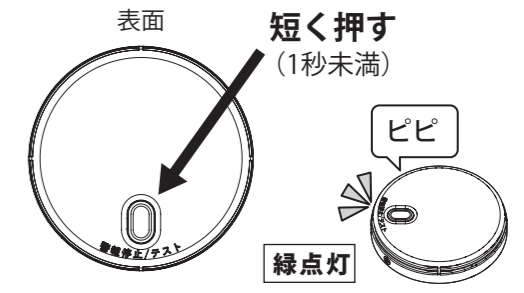
登録確認メッセージ「○番登録」が流れてから、
1分以内に次の子器の『登録』ボタンを押してください。



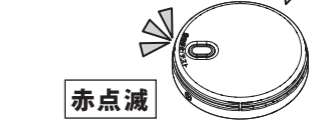
- 親器の表示灯が消えたときは、もう一度親器の『登録』ボタンを押してください。

ステップ 3 全ての子器で登録を確認する

子器の『警報停止/テスト』ボタンを
短く(1秒未満)押します。



○番 正常です ピーヒューヒュー 火事です 火事です



と鳴り、表示灯が赤点滅すると成功です。

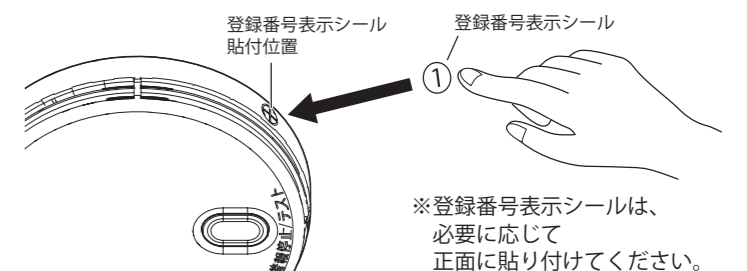
- 「○番」は、テストをした子器の登録番号が鳴ります。
- 「○番」のあとは、約20秒間の無音状態が続きます。
- 違う警報音の場合、『取扱説明書』の

4.2 単独テスト(警報器の機能を確認する) を参照のうえ、

適切に対処してください。

- 1台ずつすべての子器で確認してください。

「○番」と同じ番号の
登録番号表示シールを貼ります。



※登録番号表示シールは、
必要に応じて
正面に貼り付けてください。

設置しよう！

取付位置を必ず守ってください！

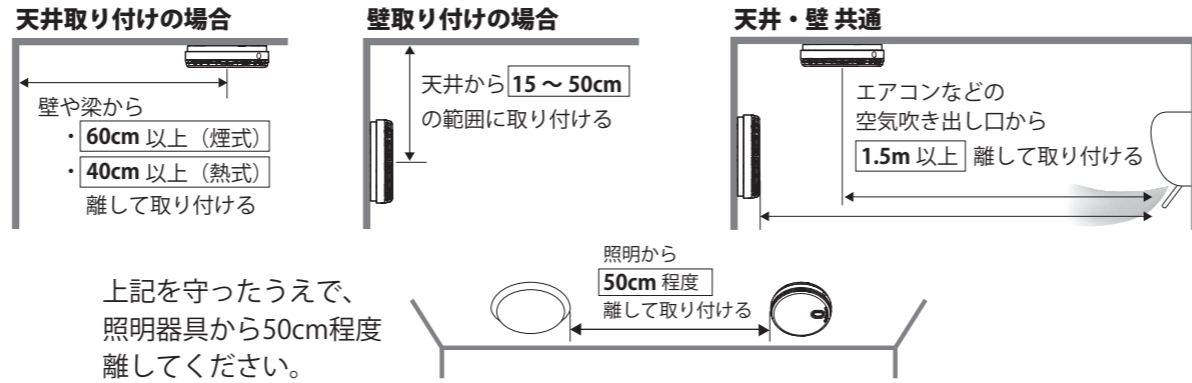
次のような場所への取り付けをおすすめします。

煙式 寝室(居室など)、階段、廊下、台所

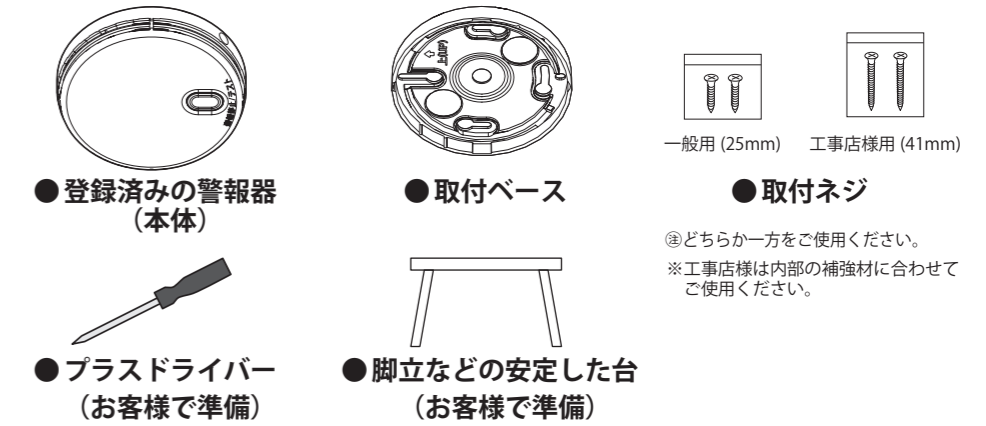
熱式 台所など

● 各市町村条例により異なります。

警報器は、なるべく部屋の中心に取り付けてください。



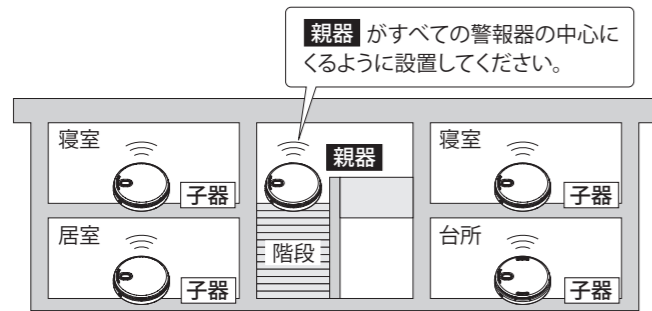
用意するもの



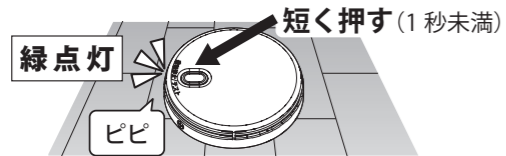
ステップ 1 電波状態を確認する

必ず守る 必ず電波状態を確認してから設置してください。
電波状態を確認しなかった場合、電波異常となる可能性があります。

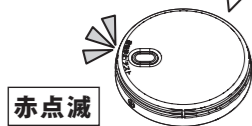
すべての警報器を
設置予定場所の**真下の床**に仮置きします。



子器の『警報停止/テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。



○番 正常ですピーヒューヒュー 火事です 火事です



と鳴り、表示灯が赤点滅すると成功です。

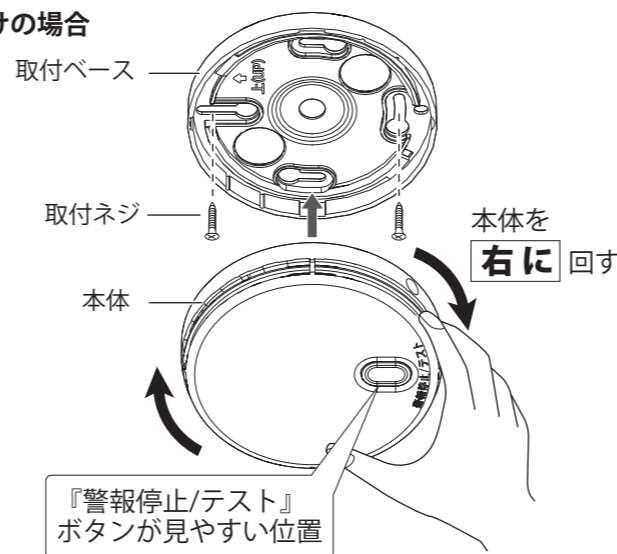
- 「○番」は、テストをした子器の登録番号を鳴動します。
- 「○番」のあとは、約20秒間の無音状態が続きます。
- 1台ずつすべての子器で確認してください。
- 違う警報音の場合、『取扱説明書』の 4.2 単独テスト(警報器の機能を確認する) を参照のうえ、適切に対処してください。

ステップ 2 取り付ける(ネジ止めの場合)

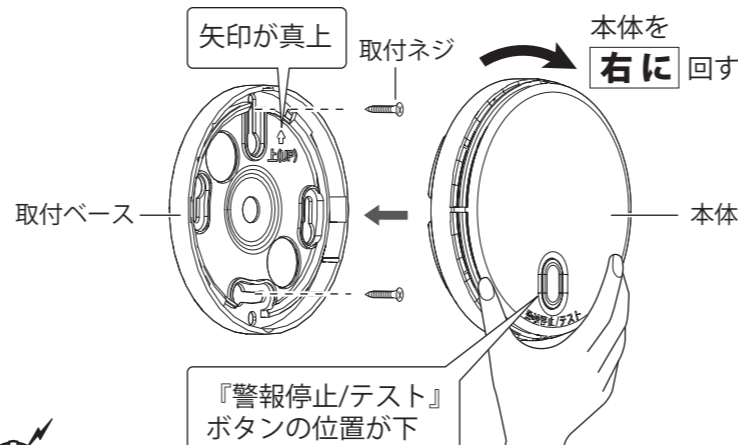
取付ベースをネジ止めし、本体を取り付けます。

- 付属の取付ネジについて
工事店様以外は「一般用(25mm)」をご使用ください。

天井取り付けの場合



壁取り付けの場合



壁に掛けて設置する場合は？

『取扱説明書』の 3.2 警報器の設置 を参照してください。

ステップ 3 動作を確認する

大きな音が鳴ります。周囲の迷惑にならないよう、夜間などは避けてください。

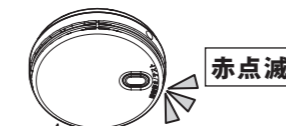


登録した警報器をすべて設置したか確認

登録したが設置しなかった子器がある場合は、登録情報を消去してください。
消去の方法は、『取扱説明書』の 2 登録・消去 を参照してください。

すべての警報器で単独テストをする

警報器の『警報停止/テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。



○番 正常ですピーヒューヒュー 火事です 火事です

と鳴り、表示灯が赤点滅すると成功です。

- 「○番」は、登録番号(親器は0、子器は **ステップ 1** と同じ番号)が鳴ります。
- 違う警報音の場合、『取扱説明書』の 4.2 単独テスト(警報器の機能を確認する) を参照のうえ、適切に対処してください。
- 1台ずつすべての警報器で確認してください。

連動テストをする(連動を確認する場合)

必ず守る 各機器の状態は連動テストでは確認できません。
単独テストは省略せず、必ず実施してください。

いずれか1台の警報器で『警報停止/テスト』ボタンを長く(2秒以上)押します。
すべての警報器が連動して警報音が鳴ると成功です。

- 連動に4~20秒程かかります。

